

第6回 鶴川東地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2022年7月20日（水） 10:00～11:54	
開催場所	町田市立鶴川第二小学校 1階 ランチルーム	
出席者 (敬称略)	委員	中村委員、早稻田委員、田中委員、成海委員、大川原委員、吉川委員、大塚委員、陶山委員、市川委員、○鈴木委員、◎鰭坂委員 (◎会長 ○副会長)
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター、企画政策課、防災課 (委託業者) 株式会社梓設計
傍聴者	0名	

議事内容

1 第5回基本計画検討会の振り返り

新たな学校推進課 (資料1説明)

通学路の安全対策について、先週の金曜日の7月15日にBルートについて現地確認を行った。Aルートについては7月29日に実施する予定。

通学の負担軽減について、鶴川東地区の通学区域において、路線バスによる通学を検討する可能性があるエリアにおける、実際に通学に使うであろうバス路線とその時刻表、想定される所要時間などを資料として提示した。そのうえで、徒歩による通学でもおおむね25分前後での通学が可能であること、また、エリアによっては路線バスを使っても時間短縮にならないことから、徒歩での通学が現実的なのではないかということ共有した。

新たな学校への歴史の継承について、各校の物品やイベントなどへの思いを改めて伺い、今後、具体的にどのような形で継承していくかをワークショップ形式で意見交換した。

最後に、新たな学校の校歌・校章の作成について、新しい校歌、校章の作成時期や作成方法について、現在の両校の校歌を聴いたうえで、校章の由来やほかの自治体の例を参考にして、ワークショップ形式で意見交換をした。

2 学校の統合と学区の再編に伴う学区外通学について

学務課 (資料2-1～2-2説明)

3 学校跡地等の活用について

企画政策課 (資料3説明)

新たな学校推進課 (資料3説明)

委員 学校跡地の活用について、一般論になるが、そもそも小学校、中学校が建っているところの都市計画や地目は何か。都市計画はどういった用途になっているのか。

企画政策課 用途については、学校が建っている場所によって異なる。団地の中にある小学校や中学校は、一団地の住宅施設という大きい枠組みでの都市計画がかかっているところもあり、学校ごとに変わってくる。

委員 鶴川第三小学校の跡地は先ほどの説明のとおり用途がもう決まっているので、跡地として検討の余地はないということだろうが、鶴川地区で言えば、推進計画では真光寺中学校が学校跡地となる。身近な一時避難所として地域の人が意識していた学校がなくなった場合に、最適な配慮を検討して引き継いでいくということなので、真光寺中学が一時避難所と意識して暮らしている皆さんは、真光寺中学校の跡地をどこかに売却したり貸し付けたりして、学校とは別の何らかの機能が入ったとしても、そこは一時避難所などの防災拠点として利用できることを条件にするというイメージなのか。

企画政策課 真光寺中学校の跡地について貸付けなどを行う場合、そのような貸付の条件をつけるということも一つの方法としてはあると思う。また、仮に真光寺中学校の跡地が避難施設ではなくなるということであれば、地域の方にその周知はする必要があると思っている。新たな学校づくり推進計画、統合予定時期はまだ先なので、地域の方々といろいろお話しさせてもらいながら決めていきたいと考えている。

委員 先ほど都市計画の変更について質問したが、地域の方にアンケート調査をした結果こんな使い勝手がいいねとなったときに、その要望を実現できる都市計画に変更することは容易にできるものなのか。

企画政策課 どのような変更なのかにもよると思うが、一旦は現在の都市計画の範囲内で活用方法を考えるというのが基本だと考えている。真光寺中学校の跡地をどう活用していくかを決める中で、必要性があれば都市計画を変えていくことも、可能性としてはあると考えている。

4 学校施設の地域開放及び屋外環境づくりと需要調査アンケートの実施について

委託業者 (資料4-1～4-2説明)

今回は地域開放エリア、それから屋外の環境づくりについてワークショップで検討したい。

地域開放エリアについては、資料にある現時点で地域開放を検討している学校の施設の配置や、安全面の確保などが検討する上で大切なポイントになる。

屋外の環境づくりについては、遊具や植栽、舗装などの敷地内の屋外の作り方を指している。地域開放と屋外環境を絡めて、屋内の地域開放施設との関係性や、地域開放エリアにアクセスする動線、安全性なども一緒に検討していただきたい。

[ワークショップ]

Aグループ こちらのグループでは、主に3つのポイントが出た。

初めに、地域開放のエリアのセキュリティーの問題について。セキュリティーの

面では、駐車場や地域開放の入り口は1つに絞ったほうが良いことや、休日の利用と平日の利用で門を分けるなどしてセキュリティーをしっかりとしてほしいということ、また、施設の管理者も児童のセキュリティー、安全を優先したうえで管理してほしいという意見があった。あとは、一般の出入口として、現在の学童の位置からの動線はあまり望ましくないという意見と、正門に車両動線、地域動線、児童動線が重なっているため、そこはもう一度整理したほうが良いのではないかという意見が出た。

2点目は、資料の案では、敷地の北側のピオトープの南に第一駐車場を設けているが、これは車両の動線と児童がピオトープを利用するときの動線の重なり危険という意見があった。あとは、マンホールトイレが校舎の北側にあるが、敷地の北側が土砂災害警戒区域、イエローゾーン、レッドゾーンのエリアになっているので、この位置にマンホールトイレがあるのはあまり好ましくないのではないかという意見もあった。駐車場やマンホールトイレの位置については再整理が必要かと考える。

3点目としては、学校の周辺からの見え方や学校からの音などに対する配慮について。まず、南西側に集合住宅があるが、今でも校庭からの砂ぼこり対策をしているので、校舎の配置によってはさらに対策が必要になる可能性があるという意見があった。あとは、今回の案では4階にプールがあるので、北側の隣地からの視線を遮るような配慮が必要ではないかというご意見、それから、大型バスなどを児童が利用する際に南西側に乗り入れることがあるので、そのような大型バスが乗り入れても大丈夫なような、駐車場などをグラウンド横に展開するエリアの確保などが必要ではないかというご意見があった。

最後に、防災の観点は次の検討会で検討していきたいと思っているが、避難所の機能としての充実をもう少し考えて配置計画を行ったほうがよいのではないかというご意見をいただいた。

Bグループ

Bグループのまとめを発表する。

まず、地域開放については、セキュリティーと防災について意見が出た。

セキュリティーについては、職員側で管理するのではなくて、地域開放の管理の諸室を個別に設けて、誰がいたのかいつでも分かるように運用すべきというご意見をいただいた。あとは、まずは敷地内に人を入れないためのセキュリティーはしっかりとしてほしいので、門扉周りのセキュリティーの考え方をしっかり整理する必要があるという意見があった。あとは、地域開放エリアについて、今回の案では多目的ホールが1階にあるが、例えば中庭と一体として使えるようにするとか、そういうような考え方もいいんじゃないかというご意見が出た。あとは、2階にラーニングセンターがあるが、ネットのセキュリティー対策も必要なのではないかというご意見、あとは、PTAの部屋がどこにあるかというご質問については、コミュニティルームの辺りに設けるという方針をお話した。

防災の観点については、体育館は1階が良いのではないかというご意見をいただいた。

屋外環境については、グラウンドの西側に車両動線があるが、そちらに子どもた

ちが飛び出さないようにするための工夫が必要というご意見や、第二グラウンドのほうから子どもたちが入れる門をつくる場合、たまりを十分確保する必要があるということ、例えば公園にあるアスレチックなどを第二グラウンドに移設して、地域交流スペースとして活用するというようなアイデアもあるのではないかとというようなご意見をいただいた。

あとは、防災倉庫は室内に設けて管理しやすいようにすることや、飼育小屋やピオトープを魅力的なスペースとして使えるように何かできないかというようなご意見もいただいた。

新たな学校推進課 （資料4-3～4-4説明）

5 鶴川東地区の新たな学校名の選定について

新たな学校推進課 （資料5-1～5-2説明）

新たな学校の学校名について、項番1のとおり5月23日から6月17日の期間で意見募集を行った。

今後の学校名選定の流れについては、項番2のとおり今回から計3回の検討会をめぐり、おおむね3案程度の複数案に絞り込み、絞り込んだ学校名を10月以降に広く市民に周知して、そこで寄せられたご意見をこちらの検討会に共有し意見交換を行う。その結果を踏まえて、最終的に教育委員会で1案に絞り込みたいと考えている。

本日の検討会においては、資料を踏まえ今後どのように3案程度に絞り込んでいくか、その方法や視点などについてワークショップ形式で自由にご意見をいただきたい。

〔 ワークショップ 〕

6 次回検討会について

新たな学校推進課 次回、第7回基本計画検討会は、8月24日水曜日の9時半から、場所は鶴川第三小学校で開催を予定している。

会長 閉会のあいさつ